

## 国際 P2M 学会 論文投稿規定補足

P2M は、経済産業省が支援し財団法人エンジニアリング協会が 2001 年に編纂した「プロジェクト・プログラムマネジメント標準」が原著で、著作権は財団法人エンジニアリング協会が持っています。しかし、原著は発刊されておらず、2003 年に、同じ内容のガイドブック<sup>[1]</sup>が PHP 研究所から発刊されました。その後、改訂 2 版<sup>[2]</sup>、改訂 3 版<sup>[3]</sup>が日本能率協会マネジメントセンターから発刊されています。

本学会では文献[1]をベースに、2009 年に P2M Version 2.0 コンセプト基本指針<sup>[4]</sup>を提唱し、P2M の適用領域を拡大して理論と実践の両面から研究を進めています。

- [1] 小原重信編著『P2M プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック（上）（下）』、PHP 研究所（2003）
- [2] 日本マネジメント協会編著『新版 P2M プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック』日本能率協会マネジメントセンター（2007）
- [3] 日本マネジメント協会編著『改訂 3 版 P2M プログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック』日本能率協会マネジメントセンター（2014）
- [4] 国際 P2M 学会ウェブサイト [http:// www.iap2m.org/pdf/p2mconcept200906.pdf](http://www.iap2m.org/pdf/p2mconcept200906.pdf)

本学会誌へ論文を投稿するときには、P2M の先行研究として本学会誌の該当する分野の掲載論文や上記の文献を参考にさせていただくようお願いします。

附則

2021 年 6 月 26 日制定